

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：82621

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20K00164

研究課題名（和文）塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す

研究課題名（英文）Rereading Early Film History with the Yoshinobu Tsukada Collection as a Starting Point

研究代表者

入江 良郎（Irie, Yoshiro）

独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館・企画課・主任研究員

研究者番号：70280534

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では3年間を通して、塚田嘉信コレクションの目録化を特に重点的におこなった。また、重要と判断したコレクションの一部についてはデジタル化を実施し、そのデジタル画像を国立映画アーカイブ図書室内において公開した。最終年度にはシンポジウム「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」（於国立映画アーカイブ）を2023年3月18日に開催し、研究協力者の本地陽彦（日本映画史研究家）による基調講演「塚田嘉信氏旧蔵資料に就いて」の他、コレクションを活用した研究成果を一般向けに公表した。またコレクションの目録を含む研究成果をまとめた冊子を2023年3月31日に刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

塚田嘉信は、映画史・映画学の発展に多大なる貢献を果たした映画史家であるが、彼が自身の研究のために収集したコレクションには国内外において唯一である文献を多数含むものであるため、これらの研究活用を目的とする本研究の学術的意義は極めて高い。

研究成果の概要（英文）：Throughout the three years of this research, we focused on cataloging the Yoshinobu Tsukada Collection. In addition, we digitized a portion of the collection that we judged important and made the digital images available to the public in the Library of National Film Archive of Japan. In the final year of the project, we held the symposium entitled "Film Historian Yoshinobu Tsukada: His Collection and Achievement" (at National Film Archive of Japan) on March 18, 2023, with a keynote lecture by research collaborator Haruhiko Honchi (Japanese film historian) on "The Former Collection of Yoshinobu Tsukada," and research results consulting the Tsukada collection were also presented to the public. In addition, we published a report book summarizing the research results, including the catalog of the Tsukada collection, on March 31, 2023.

研究分野：映画

キーワード：映画 映画学 映画史 初期映画 映像文化 映画遺産 ノンフィルム資料 フィルムアーカイブ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

国立映画アーカイブ(以下 NFAJ)は、2018年に映画史家の塚田嘉信氏が自身の研究のために収集したコレクションの全てを受領した。塚田氏が遺した資料には、もはや国内外で唯一と言える映画文献を多数含んでいた。これらを映画遺産として後世に継承していくことは NFAJ の責務と考え本プロジェクトを構想した。

2. 研究の目的

塚田嘉信コレクションの目録化・デジタル化をおこない、またそれを最大限に活用するため、NFAJ がこれまで蓄積してきた既存の映画資料コレクションと高い専門性を備えた人材を動員し、ナショナル・フィルモグラフィの構築に向けた基礎研究をおこなうことを目指すもの。

3. 研究の方法

2020年度においては、国立映画アーカイブ内の本館(京橋)、相模原分館に分散させ保管していた塚田嘉信コレクションの全体を詳細に把握するため、当該資料を詳しく点検する作業から開始した。そのうえで、資料的価値が高いと判断した資料群を本館に集約させ、各資料を内容に応じて細かく再分類し、研究活用の観点から、優先度が高いと判断された資料をさらに選定し、それらの資料整理に着手した。資料整理を進めるにあたり、日本映画史の専門家である本地陽彦、佐崎順昭の二名を研究協力者として雇用して作業をおこなった。さらに、経年劣化した資料については長期保存性の確保のため修復+デジタル化を実施した。

2021年度も引き続き、目録化作業を重点的に実施したうえで、コレクションに含まれる重要資料の具体的な分析を進め、各自の研究成果をチーム内で情報共有するための研究会を定期的に行い、最終年度の成果公開に向けた準備をおこなった。

最終年度となる2022年度は、目録化作業と資料の分析を進めつつ、成果公開のためのシンポジウムの開催・冊子の刊行をおこなった。

4. 研究成果

塚田嘉信コレクションを研究活用した成果の一例として、入江良郎が2021年11月27日に、日本映像学会 第50回映画文献資料研究会において口頭発表「吉澤商店の国産映写機製造」をおこなった。

最終年度となる2023年3月18日には、シンポジウム「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」(於国立映画アーカイブ)を開催した。シンポジウムでは、まず塚田コレクションの概要を紹介するものとして、岡田秀則が「よみがえる塚田嘉信コレクション 資料の受け入れと今後の活用」、本地陽彦(研究協力者)が「塚田嘉信氏旧蔵資料に就いて」、佐崎順昭(研究協力者)が「塚田嘉信旧蔵(創刊号を中心とした)雑誌コレクション調査報告」とのテーマで発表をおこなった。また塚田コレクションの研究活用の事例を紹介するものとして、紙屋牧子が「映画を二番目にみた女性皇族 初期映画と皇室の関わり」、大傍正規が「『南極探検活動写真』(1912)関連資料の同定研究 『活動写真機械及フィルム定価表』(1912)に見る最古の長篇記録映画」入江良郎が「『北清事変活動写真』と『新製活動写真』 最古の映画商社・吉澤商店における映画製作の起源」をテーマとして、各自が発表をおこなった。更に、以上の発表内容に加

え、本地陽彦の「塚田嘉信氏年譜」、佐崎順昭の「塚田嘉信書誌」等も収録した冊子を年度末に刊行した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 入江良郎	4. 巻 -
2. 論文標題 「北清事変活動写真」と「新製活動写真」 最古の映画商社・吉澤商店における映画製作の起源	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金成）基盤研究（C）「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す」成果報告（2020-2022年度）	6. 最初と最後の頁 353-382
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 -
2. 論文標題 Thoughts on the Imperial Household Movies in Early Cinema: Focusing on the Films of the Japanese Prince Takehito Arisugawa Visiting Europe	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 美学（国際版）	6. 最初と最後の頁 66-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大傍正規	4. 巻 -
2. 論文標題 『南極探検活動写真』（1912）関連資料の同定研究－浅草国技館における初回興行と地方興行の諸相	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金成）基盤研究（C）「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す」成果報告（2020-2022年度）	6. 最初と最後の頁 293-351
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 52
2. 論文標題 マキノ雅弘監督『次郎長三国志 第九部 荒神山』（1954年）の異様さについて 「冤罪」の表象と松川資料室との共振性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 武蔵野美術大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 35-43
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 27
2. 論文標題 コドモ 映画としての『二つの玉』（1926年）をめぐって 大正・昭和初期における朝日新聞社の映画事業	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EAA Booklet	6. 最初と最後の頁 51-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 -
2. 論文標題 『孫悟空』（1940年）における全体主義とエノケンの身体性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 栗原重一とその時代 エノケン喜劇をささえた音楽家（早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 公募研究成果報告）	6. 最初と最後の頁 95-102
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡田秀則	4. 巻 6
2. 論文標題 《映画博物館》の誕生 パリ、メッシーヌ大通り七番地のアンドレ・バザン	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アンドレ・バザン研究	6. 最初と最後の頁 114-120
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 116
2. 論文標題 映画『祇園祭』を伊藤大輔の作家性から再考する 「傾向映画」との接続と非接続	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文學報	6. 最初と最後の頁 183-205
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大傍正規	4. 巻 12
2. 論文標題 国立映画アーカイブにおけるコレクション形成の原点 フランソワ・ジェルジェリーの貢献	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NFAJニューズレター	6. 最初と最後の頁 9-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 9
2. 論文標題 フィルムアーカイブの諸問題 第108回：「小さきものたち」を拾い集めること 映画図書館員会議2019に参加して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NFAJニューズレター	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 紙屋牧子	4. 巻 179
2. 論文標題 草創期の朝日会館における映画上映	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大阪春秋	6. 最初と最後の頁 80-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡田秀則	4. 巻 10
2. 論文標題 コレクション研究 日本のディズニー映画ポスター (1959-1967)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NFAJニューズレター	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計24件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 入江良郎
2. 発表標題 史上最古にして最大！ 映画スター第一号「目玉の松ちゃん」の功績
3. 学会等名 京の活動写真 下鴨映画祭
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 入江良郎
2. 発表標題 『北清事変活動写真』と『新製活動写真』 最古の映画商社・吉澤商店における映画製作の起源
3. 学会等名 シンポジウム「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 映画を二番目にみた女性皇族 初期映画と皇室の関わり
3. 学会等名 シンポジウム「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岡田秀則
2. 発表標題 みがえる塚田嘉信コレクション 資料の受け入れと今後の活用
3. 学会等名 シンポジウム「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大傍正規
2. 発表標題 『南極探検活動寫眞』（1912）関連資料の同定研究 『活動写真機械及フィルム定価表』（1912）に見る最古の長篇記録映画
3. 学会等名 シンポジウム「映画史家・塚田嘉信 そのコレクションと業績
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 入江良郎
2. 発表標題 映画渡来史再考「吉澤系シネマトグラフ」の正体をめぐって
3. 学会等名 合同研究会「NFAJコレクションを活用した映画史の再検討」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 Politics of Gazes: Thoughts on the Film(s) Kagayaku Showa Seidai Go-tairei no Seigi (Glorious Era of Showa: The Grand Ceremony for Imperial Succession), 1928
3. 学会等名 The International Workshop “Mass Media, Popular Culture, and the State in Interwar Period Imperial Japan”（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 国立映画アーカイブ所蔵フィルム『輝く昭和聖代 御大禮の盛儀』（1928）について
3. 学会等名 合同研究会「NFAJコレクションを活用した映画史の再検討」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田秀則
2. 発表標題 「キネマ文字」の定着過程を見る NFAJコレクションを中心とした映画館プログラム・チラシを例に
3. 学会等名 合同研究会「NFAJコレクションを活用した映画史の再検討」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田秀則
2. 発表標題 ドキュメンタリーの詩性に向かって NFAJ所蔵松川八洲雄資料を読む
3. 学会等名 映像のアルチザン 松川八洲雄の仕事（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大傍正規
2. 発表標題 『狂った一頁』（1926）の複数バージョンの同定と興行形態の変遷について
3. 学会等名 合同研究会「NFAJコレクションを活用した映画史の再検討」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 「メロドラマ」としての映画『五郎正宗孝子伝』（1915年）に関する考察 継子いじめ の系譜から
3. 学会等名 表象文化論学会第16回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 入江良郎
2. 発表標題 吉澤商店の国産映写機製造
3. 学会等名 日本映像学会・第50回映画文献資料研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大傍正規
2. 発表標題 アニメーション映画のアーカイピングー高残存率を支えるフィルム発掘と複数バージョンの同定研究
3. 学会等名 日本アニメーション学会西日本支部 オンライン研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 入江良郎
2. 発表標題 「忠臣蔵」作品解説
3. 学会等名 京都映画賞創設記念・二条城撮影所誕生111周年記念 活動写真弁士による「最古の『忠臣蔵』特別上映会」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡田秀則
2. 発表標題 シンポジウム「映画資料をめぐる現状とその課題 全国ネットワーク化に向けて」
3. 学会等名 全国映画資料アーカイブサミット2021（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡田秀則
2. 発表標題 映画資料アーカイピングの現状
3. 学会等名 演劇映像学連携研究拠点 公募研究「映画宣伝資料を活用した無声映画興行に関する基礎研究」主催 公開研究会「演劇博物館所蔵「大正・昭和初期映画館チラシ」が埋める無声映画史の隙間」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大傍正規
2. 発表標題 国立映画アーカイブにおけるコレクション形成 映画フィルムの整理と目録作成を行う意義について
3. 学会等名 映画の復元と保存に関するオンラインワークショップ2021（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大傍正規
2. 発表標題 日本活動写真株式会社『活動写真機械及フィルム定価表』を活用した『南極探検活動写真』（1912年）の同定
3. 学会等名 科研費研究課題「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読みなおす」第一回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 『孫悟空』（1940年）と全体主義
3. 学会等名 演劇映像学連携研究拠点 公募研究「栗原重一旧蔵楽譜を中心とした楽士・楽団研究」主催 公開研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 「大正・昭和初期映画館チラシ」から見えてくるもの
3. 学会等名 演劇映像学連携研究拠点 公募研究「映画宣伝資料を活用した無声映画興行に関する基礎研究」主催 公開研究会「演劇博物館所蔵「大正・昭和初期映画館チラシ」が埋める無声映画史の隙間」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 草創期における映画と皇室との関わり：塚田嘉信が遺したものから考える
3. 学会等名 科研費研究課題「塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読みなおす」第一回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 紙屋牧子
2. 発表標題 「御大典映画」（1928年）製作をめぐる背景を考察する
3. 学会等名 科研費研究課題「大正期から昭和期における「皇室映画」の研究活用に向けた基礎調査」Zoom研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大傍正規
2. 発表標題 『カルメン故郷に帰る』（1951年）のオリジナルの色彩を探る 三色分解白黒ネガフィルムに残存する色彩の色再現
3. 学会等名 映画の復元と保存に関するオンラインワークショップ2021
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 岡田秀則（監修）、貴田奈津子（企画）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 トゥーヴァージンズ	5. 総ページ数 352
3. 書名 昭和の映画絵看板 看板絵師たちのアートワーク	

1. 著者名 紙屋牧子（分担執筆）、志村三代子（編）、角尾宣信（編）、他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 554
3. 書名 渋谷実 巨匠に渋谷実して異端（担当範囲：『やさもっさ』と「講和」 ポスト占領期における男性・女性の闘争）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	紙屋 牧子 (Kamiya Makiko) (20571087)	玉川大学・芸術学部・非常勤講師 (32639)	
研究 分担者	岡田 秀則 (Okada Hidenori) (30300693)	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館・企画課・主任 研究員 (82621)	
研究 分担者	大傍 正規 (Daibo Masaki) (40580452)	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館・企画課・主任 研究員 (82621)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------